

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

四日市版コミュニティスクールの指定を受け、「三滝中学校運営協議会」が発足し、2年目となりました。保護者・地域住民の方々が主体的に学校運営に参画し、学校教育活動の充実に向け、学校、保護者及び地域住民が協働し、本校の「学校づくりビジョン」の実現を図ります。

そのために、本校の運営協議会は、授業や行事の参観を通して生徒の実態を把握し協議するとともに、学校教育活動を地域に広める方策や生徒が地域で活動し関わりを深める方策等を話し合い、さらなる学校教育活動の深化を図っていきます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

○地域の教育力を生かした特色ある教育活動についての実践事例

【一人暮らし高齢者に色紙を送ろう】 長年継続され地域の方々からも大変喜ばれている本校の特色ともいえる取組です。2・3年生の生徒が美術科・国語科・総合的な学習の時間、学活などの時間を利用し、地域に住む一人暮らしの高齢者のみなさんを元気づけるために色紙を作製します。その作製した色紙を福祉委員が地区のセンターや地域の方々のお宅を訪問し届ける取組です。地域の介護・福祉施設や一人暮らしの高齢者の方々が本当に子どもたちの来訪を待ちわび、実際に会って喜んでみえる様子が子どもたちの気持ちを高めます。子どもたちは満足感や充実感を得ることができ、自信につながる取組になっています。



【漢字検定・英語検定】 学ぶ意欲を持続させるために、漢検を年間2回、英検を年間3回、設定しています。いずれの機会にも多くの生徒が受検するなど、意識が高いといえます。この取り組みでは、試験監督をコミュニティスクールの委員さんが務めてくれ、申し込みの手続きや検定料の管理などを行ってくれています。教員だけでは手が回らないところをバック



アップしてくださり、継続できています。

【川島子ども未来塾】

コミュニティスクールの委員長さんを中心に企画され、昨年度より始まった小学生に対する学習支援の取組です。

地域の方や地元の学生さんたちに交じって中学生も参加し、夏休みの小学生の補習の支援にあたりました。

夏休み前に集会で趣旨を伝え有志を募り参加しています。当日は、最初、お互いに戸惑いが感じられましたが、年齢も近いお兄さん、お姉さんからの指導に小学生が慣れてきて良い学習の雰囲気が出てきました。中学生の指導にも工夫や積極性が生まれ、中学生にとっても良い学びの場になりました。



【認知症サポーター養成講座】

地域の方々や四日市大学の学生、川島在宅介護サービスセンターの職員の方々が協力して、子どもたちの前で寸劇を交え、認知症を知る事、支援の在り方等考える場面を提供しながら学ぶ時間を作っていました。

なかなか学校に地域の方々が入り子どもたちに授業をしていただく場がないので、集中して取り組む子どもたちの姿が多くありました。

今後もゲストティーチャーとして来校いただき学びの場面を提供してもらいたいと考えます。



以上の取組が特に本校の教育活動の特色あるものになりますが、今年度は地域の行事に音楽部や生徒会、部活動単位でたくさん参加しました。



とりわけ、音楽部の演奏は地域からも引っ張りだこで、地域の文化祭はもちろん、地元の幼稚園、保育園、地元の福祉施設などにも出前演奏活動を行っています。

また、コミュニティスクール委員長自ら、楽器の運搬等のお手伝いをいただくなど、全面的にバックアップしていただいています。

その他、川島地区の桜祭りや凧揚げ大会等にも参加し、年々、地域行事に参加する生徒も増えています。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

今年度もコミュニティスクール委員さんからのご提案やお誘いから多くの地域の行事に生徒たちが参加しています。これらの取組によって学校・保護者・地域住民の連携・協力はより一層深まったと言えます。

生徒たちが地域に出て地域の方々に期待され、活動を褒められることを重ねていく中で生徒たちの取組みの様子が変わってきています。充実感、満足感が笑顔や積極性になって表現されることが多くなってきました。今年度の大きな成果の一つと言えます。

また、保護者だけに配付していました「学校だより」を地域の自治会にも回覧し、2年目を迎えました。組長会でも話題にさせていただき、地域行事に参加している生徒たちへの声かけにもつながる等、より開かれた学校をめざして今後も続けていきたい取組みの一つとなっています。

3 今後に向けて

以上のように、成果もたくさん感じられる本年度の取組でしたが、運営協議会では、今後に関するご意見もいただいています。今後も落ち着いた学びの場を提供できるよういじめを許さない学校づくりへの期待、学校の様子、地域で活躍する中学生の子どもたちの姿をより多くの人々に周知するためのホームページの活用推進、さらには、地域の力を活用したより多くのゲストティーチャーによる授業や講演会の実施等が挙げられています。

また、地域での中学生の役割の重要性や学校に頼らず中学生への直接の呼びかけ等、もっとつながりを強める地域づくりの必要性等が話し合われました。今後も効果的な取組みを継続し、課題を解決するための工夫をしていきます。

そして、より一層、地域、保護者、学校の連携を深めていきたいと考えます。

別紙B

令和元年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立三滝中学校

委員長 田中 徹

校長 山下 博

| 月 | 協議会の開催 | 活 動 内 容 |
|----|-----------------------|---|
| 4 | | |
| 5 | 第1回 運営協議会 第1回 英語検定 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校づくりビジョン検討 ・年間計画の確認 ・学校の様子について ・事務手続き 等 ・第1回英語検定の実施 |
| 6 | 第2回 運営協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・体育大会参加 ・学校の様子について ・地域との連携の取組について |
| 7 | | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクール運営協議会委員研修会 (田中委員長参加) |
| 8 | 第1回 漢字検定 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1回漢字検定の実施 |
| 9 | 第3回 運営協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・学力・学習状況調査の結果と分析について ・研修報告(今後の活動の提案も含めて) ・本年度の1学期の取組について |
| 10 | 第2回 漢字検定 第2回 英語検定 | <ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業(同和問題を考える土曜活動)への参加 ・第2回漢字・英語検定の実施 |
| 11 | | <ul style="list-style-type: none"> ・三滝祭への参加 ・CS 運営協議会委員長会議(田中委員長参加) |
| 12 | | <ul style="list-style-type: none"> ・地域とともにある学校づくり推進フォーラム (田中委員長参加) |
| 1 | 第3回 英語検定 | <ul style="list-style-type: none"> ・第3回英語検定の実施 |
| 2 | | <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動推進のためのコーディネーター養成講座(県教委主催)(田中委員長参加) |
| | 第4回 運営協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の振り返り ・学校関係者評価 ・次年度CS活動計画(案)検討 等 |
| 3 | 第5回 運営協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業式参加 ・「活動報告」及び「支出内訳書」の承認 ・様式3「学校関係者評価書」の承認 |